

**「金沢市ごみ処理基本計画（第7期）骨子（案）」についての
パブリックコメントでのご意見の概要と金沢市の考え方（回答）**

1. 募集期間 : 令和5年11月28日（火）～12月27日（水）
2. 提出方法 : メール、郵便、ファクシミリ又は窓口を持参
3. 意見数 : 20件（意見者数6人1団体）

No.	ご意見の概要	金沢市の考え方
①第6期計画における実績について		
1	「2.（2）第6期計画における主な取り組み」の中の「LINE 公式アカウントごみ出しサポート」の利用者数はどのくらいなのか。	令和5年12月末現在で211,840名が利用しており、年々、利用者は増加しています。
2	「2.（3）ごみ排出量」について、▲が増加を表しているのか減少を表しているのかわかりにくい。	一般的に、財務諸表等では、マイナス表記がわかりやすいよう「▲」記号が使われているため、本計画においても減少分については「▲」記号を使用しています。
3	「2.（3）ごみ排出量」について、家庭系ごみ排出量の令和6年度の目標値が示されていない理由について知りたい。	第6期計画を策定した令和2年2月時点では、家庭系ごみは、指定ごみ袋収集制度の導入等によって、一定のごみ減量化・資源化が図られ、その効果が維持されていることから、今回の見直しでは目標値としての設定は見送ったが、次回の見直しに向けて、その後の推移を注視していきます。
4	「2.（3）ごみ排出量」について、事業系ごみ排出量の減少の理由は記載されているが、家庭系ごみ排出量が減少している理由について知りたい。	平成30年2月に開始した指定ごみ袋収集制度を機に、市民一人ひとりの環境意識の向上とともに、ごみの削減や資源化の取組が、地域や家庭において浸透し、様々な実践等につながっていることが主な理由と考えています。
5	「2.（4）ごみ組成調査」について、燃やすごみのグラフの「再生可能な紙類」とは、実際にリサイクルされているものか、それともリサイクルできるのに捨てられているものか知りたい。	リサイクル可能であるが、「燃やすごみ」として排出された紙類を示しています。

6	第6期計画の取組結果をどのように評価しているのか知りたい。	コロナ禍で生活様式の変化等が生じるなか、食品ロス削減推進計画の策定や実践、古紙や生ごみの減量化・資源化などに取り組み、令和4年度のごみ排出量は平成30年度に比べ減少するなど、一定の成果が得られたと考えています。
---	-------------------------------	---

②第7期計画骨子案における目標値・施策について		
7	排出量の減量の目安はどのように図られたものなのかわからないため、第7期計画の目標値について、算出方法を明らかにしてほしい。	<p>原則、直近5年間のごみ排出量をもとに、トレンド法※を用いて算出した将来のごみ排出量を基に、人口減少等の社会的要因による減量を見込み、第7期計画の主な施策による削減効果を予測したうえで、目標値を推計しています。</p> <p>※過去の動態が将来も同じように推移するという考え方による推計方法</p>
8	個人・事業者が食料品を公共冷蔵庫（コミュニティフリッジ）に入れ、必要な人がいつでも自由に持ち帰ることができる仕組みは、現在、様々な地域で取り入れ始められており、より幅広い食品ロスの受入口となる可能性があるほか、困った状況の人々をいつでも支援できる素晴らしい取組であるため、金沢市でも取り入れることはできないのか。	<p>本市では、市施設でのフードドライブの常設窓口を設けているほか、地域のご協力を得ながら、地域フードドライブの窓口の拡大を図るなど、様々な食品ロス削減に向けた取組を行っているところです。</p> <p>ご提案の公共冷蔵庫の設置については、貴重なご意見として承り、今後の食品ロス削減の参考とさせていただきます。</p>
9	燃やすごみとして排出されている再生可能な紙類を減らすために、市が古紙回収業者に委託し、月に1回、資源ごみステーションで回収することを提案する。	<p>指定ごみ袋収集制度の開始以降、年々、地域の資源ごみステーションを活用した古紙集団回収活動が広まり、現在では、37の校下・地区で取り組まれています。</p> <p>この取組により、地域の方々は、身近な場所に古紙の排出が可能となり、燃やすごみ中の再生可能な紙類の減少にもつながっていることから、引き続き、これらの活動を支援するとともに、更なる普及拡大を図っていきたいと考えています。</p>
10	金沢市では、ダンボールコンポストを推奨しているが、様々な自治体で取り入れられている、土中のバクテリアを利用し生ごみを消滅させるコンポストの市民への啓発・普及に向けて力を入れていくことはできないのか。	<p>本市では、費用負担が少なく誰でも気軽に取り組むことができるダンボールコンポストを中心に生ごみの減量化の促進に取り組んできたところであり、引き続き、これらの取組の普及促進に努めていきます。コンポストの手法は、多種多様であり、仰せのコンポストも含めて、各家庭等に適した取組を行っていくことが重要と考えています。</p>

11	<p>「製品プラスチックの分別収集・資源化」について、現在は行っていないという認識でよいか。また、「製品プラスチックの分別」とは、具体的にどのようなことか。</p>	<p>現在、製品プラスチックは燃やすごみや埋立ごみとして回収しており、分別収集・資源化は行っていません。 「製品プラスチックの分別」とは、燃やすごみや埋立ごみとは別に製品プラスチックを分別収集し、資源化することです。</p>
12	<p>「6. 第7期基本計画の基本方針と主な施策」の「基本方針2 事業系ごみの減量化・資源化の推進」に関して、セミナーでの紙類減量とは市が行うもの以外のイベントでも積極的に行われていくのか。</p>	<p>今後、ペーパーレス化の進展が見込まれるなか、中小企業向けに、本市が啓発セミナー等を開催するほか、あらゆる機会を捉え、積極的にペーパーレス化の流れが加速していくよう事業者の更なる環境意識の向上に努めていきます。 また、イベントで発生するごみについても、市主催のものにかかわらず民間のイベントを含めて、紙ごみの削減を図っていきたいと考えています。</p>
13	<p>「いいね食べ切り推進店」には、どのような店舗が参加しており、どのくらい市民に周知されているのか。</p>	<p>本市では、食べ残し等の削減に取り組む市内の飲食店・宿泊施設を「いいね・食べきり推進店」として登録しており、ホームページへの掲載のほか、登録店でのステッカーや取組案内シールの表示などにより広く市民へ周知しています。</p>
14	<p>町会員の高齢化により、ごみ当番をできる人が年々減り、非常に危惧しており、また、収集業者も、人手不足になるおそれもあるのではないかと思う。町会の負担が少なくなるよう、将来のごみの収集体制や収集方法、ごみ処理施設の高機能化などについて、十分ご検討願いたい。</p>	<p>高齢化や人口減少による労働力不足や担い手不足を補うには、デジタル技術を活用することが必要不可欠であり、これらを有効に活用することで、違反ごみの削減などに取組み、町会の負担を軽減するとともに、効率的・安定的なごみの収集・処理体制を検討していきます。</p>

15	<p>燃やすごみとして排出されている草・枝葉について、燃やせばCO2排出、埋立てればCO2排出削減や削減分も排出量取引に利用できるほか、埋立されたものは腐葉土となり川を通じて海も豊かにするものと思っており、埋立ごみとしての分別回収をご検討願いたい。</p>	<p>草・枝葉などの植物を焼却しても、成長過程で吸収した大気中のCO2を排出するので、排出と吸収によりCO2の増加はないとされており、一方、植物を埋め立てることによって、CO2より温室効果の強いメタンを排出することになり、地球温暖化に及ぼす影響が大きくなります。</p> <p>また、本市の埋立場は令和2年に開設したところですが、限りある大切な財産であることから、一日でも長く使えるよう、資源となるものは分別回収したうえで、燃やすことのできるごみは焼却することとしています。</p> <p>このことから、草・枝葉については現行どおり、燃やすごみとして排出していただきたいと考えています。</p>
16	<p>指定ごみ袋の値上げを行い、累進課税のように、大きい容量ほど値上げ幅を上げる、小さい容量は必要な生活ごみということで据え置きか値上げ幅を小さくし、不要なごみを減らすとともに、収入を増やして減量化のための対策費として活用し、そのうえで、増収を試算してどのような対策・返還をしていくのかを市民に示せばよいと考える。</p>	<p>指定ごみ袋収集制度は、ごみの排出量に応じた費用を負担することで、ごみの減量化・資源化へのインセンティブを高めることを目的として導入したものであり、指定ごみ袋の価格は、市民の過度の負担とならず、一定の減量効果が見込まれ、かつ、本市周辺の自治体とのバランスを考慮して設定していることをご理解願います。</p>
17	<p>「4. 基本理念」における「エネルギー回収」に関する施策が「6. 第7期計画の基本方針と主な施策」から読み取れなかったが、どのような施策を展開するのか。</p>	<p>これまでも、本市では、ごみ焼却による発電や隣接プール等への熱源供給を行っているが、施策⑦の「次期環境エネルギーセンターの整備方針の策定・建設準備」を進めていくうえでも、更なる効率的なエネルギー回収を検討していきたいと考えています。</p>

③その他		
18	「ワンウェイプラスチック」や「フードドライブ」などの専門用語について、市民にわかりやすくするため、用語説明を掲載していただけるとありがたい。	基本計画本編では、専門用語の説明を記載し、わかりやすい表記に努めます。
19	現在、1 kgのごみにどれだけのゴミ処理経費がかかり、1 家庭あたり、どのくらいのごみ排出量があり、いくらを経費がかかっているか。また、目標のごみ量を削減すると、いくらを経費が削減され、市全体でどれだけの経費が削減されるというストーリーが見えないため、市民にとってわかりにくい。	基本計画本編では、一人あたりのごみ排出量の削減目標やゴミ処理経費などについて記載することとしており、よりわかりやすい表記に努めます。
20	補足資料の【ゼロカーボンシティかなざわ】【ごみ排出の区分】の用語説明は冒頭に記載した方がよいのではないのか。	基本計画本編では、できる限りわかりやすい場所への表記に努めます。